

市民と行政が 活発な意見交換

平成26年度地区懇談会

10月27日(月)から11月25日(火)まで、市内10会場で各地区との『平成26年度地区懇談会』(市主催)を開催しました。

この懇談会は、市民の声を広く聴き、市の施策形成に反映させるとともに、市政に関する情報を積極的に提供し、市民の理解と協力を得ることに、市民と行政の協働のまちづくりの推進に資することを目的に、地区ごとに毎年開催しています。

市からは、『総合計画第3期基本計画の策定進捗状況』や『新しい除雪体制』、『登別市学校適正配置基本方針』など15項目について情報提供しました。

地区からは、防災対策などの先進的な取り組みが紹介されたほか、人口増加策や施設整備などについて意見や質問が出るなど、活発な議論が交わされました。

10/27~
11/25



▲新生地区との地区懇談会



▲意見を述べる参加者(幌別西地区)



▲多くの参加者を前に、デンマークでの交流の様子を報告

**交流の成果を
人生の糧に**

平成26年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団帰国報告会

10月24日(金)、市民会館で『平成26年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団帰国報告会』(市主催)を開催しました。

8月11日(月)から18日(月)まで、登別市の友好都市ファボー・ミッドフン市を訪れていた中学生9人が、スライドを使いながら派遣中のエピソードを発表。ホストファミリーと仲良くなっていく様子や、リングフリー校の生徒との交流、お別れの前に手紙をもらってうれしかったことなど、思い出しながら話していました。

10/24

私たちがのために できることは

協働のまちづくり人材育成研修会

10月18日(土)、市民活動センターで『協働のまちづくり人材育成研修会』(市主催)を開催し、市民や市職員など合わせて23人が参加しました。

この研修会は、市民と行政の協働のまちづくりの必要性や理念、まちづくりのさまざまな手法などを学び、主体的にまちづくりを推進する人材を育成することを目的に開催したものです。

参加者は、講師の岡山洋一さん(株アムリブラザ)による講義やグループワークを通じ、対等な立場で共通の目的を達成する協働のまちづくりについて、理解を深めていました。

10/18



▲グループワークで協働のまちづくりへの理解を深める



▲太陽光発電システムの説明に聞き入る参加者

**知らなかった!
まちの新たな一面**

平成26年市民見学会

10月29日(水)、市内の主な施設を見学する市民見学会(市主催)を開催しました。

この見学会は、施設の見学を通じて市政に対する理解を深めることを目的に、毎年行っているもので、市民20人が参加しました。

ことは、クリンクルセンターや幌別ダム、太陽光発電所(札内町)、来年オープン予定のキウシト湿原の管理棟などを見学しました。

参加者は、「長く登別に住んでいます、初めて行った場所もあり、とても勉強になりました。今までより、市を身近に感じるきっかけになりました」と話してくれました。

10/29

**ふるさと登別を
懐かしむ**

第26回東京登別げんきかい総会

11月8日(土)、東京・羽田空港第1旅客ターミナルビルで『第26回東京登別げんきかい総会』(東京登別げんきかい主催)が開かれ、会員や関係者83人が出席しました。

同団体は、首都圏在住の登別出身者や登別にゆかりのある皆さんにより、平成元年に設立されたもので、今年で26年目を迎えました。

総会やその後の懇親会では、登別出身のハワイアンミュージシャン・石川優美さんのアトラクションやジンギスカン風に味付けされた鹿肉の料理が振る舞われ、出席者はふるさと登別の思い出話に花を咲かせていました。

11/8



▲参加者全員での鬼踊り

スマートフォンで動画を再生できます

1. GooglePlay・App Storeから無料アプリ「junaio」をダウンロード
2. 必ずこのQRコードをスキャン
3. この左の写真にスマートフォンをかざす



上手に作れるかな

郷土資料館体験学習『竹細工』

11月9日(日)、郷土資料館で、体験学習『竹細工』(市主催)が開かれました。

この体験学習は、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』のメンバーが、参加した小学生に竹で動く4種類のおもちゃの製作を通じて、竹に親しんでもらおうと開催しました。

竹とんぼ作りでは、参加した小学生が、羽に丁寧に紙やすりをかけたり、竹を火に当てて角度をつけたりと、細かい作業に集中して取り組んでいました。

完成後は、竹のおもちゃで遊び、楽しいひとときを過ごしました。

11/9



▲真剣な表情で竹とんぼを作る参加者